埼玉県舞踊協会
NO.22

埼玉県舞踊協会ニュース

Saitama Dance Association

発行所：埼玉県舞踊協会
発行者：津田 郁子
埼玉県さいたま市浦和区東仲町 1-16 鳥昇ビル 3F
TEL:048-882-7530 FAX:048-882-7549

「ご挨拶」

会長 津田郁子

埼玉県舞踊協会では、6月総会において、平成18～19年度の役員が決まりました。これにより、従来の事業を効率よく継続すると共に、時代に合った新しい対応を図り、舞踊芸術を一層活性化することが、求められていると思います。

暗い話題の多い時代層ですが、舞踊は、世の中を少しでも明るくする役割が、求められているように思います。各種の自主公演、育成公演、コンクールなどをとうして、技術・内容の向上を図るとともにみなの力を結集し、より良い舞踊芸術にまい進することを願っております。

助成金等の構成が変わり、あるいは縮小、あるいは廃止、などと激しく、難しい局面が多々出てくることと思いますが、理事の先生方、会員の皆様の一層のお力をお借りし、新しい時代に突き進んで行きたいと存じます。

【新年度の各部担当一覧・紹介】

○協会運営責任者
津田郁子・藤井利子・由井カナコ

○総　務
担当理事：高野尚美・中村友美・河上正子
事務局員：新野久美子

○経　理
担当理事：新野正代・河上正子

○広　報（協会ニュース）
担当理事：山本教子

○研究部
担当理事：佐多達枝・藤井　香

○フェスティバル企画・運営
担当理事：中村友美・栃沢寿美

○ステージ1企画・運営
担当理事：松崎すみ子・高野尚美

○埼玉全国舞踊コンクール
総合プロデューサー：矢野美登里
担当理事：河上正子・窪内絹子・高野尚美・手島かつこ・栃沢寿美・中村友美

○コンサート・ダンスセッション
総合プロデューサー：若松美黄
担当理事：大岩静江・窪内絹子・佐藤良寛高野尚美・手島かつこ・山本教子

○各部公演事業部員
穴水かおり・和泉加甫留・市川華代・上田仁美・岡村えり子・川名今朝美・小林和加枝・北原弘子・佐々木祐子・志保野ひろみ・すゞきさよこ・谷 乃梨絵・矢嶋麻律絵・山中有子・吉田久木子

コレオグラファーの目 vol.2

埼玉県立美術館企画展『美術館は白亜紀の夢を見る』を
ダンス・バレエによって表現する
野外パフォーマンス

日　時：2006年11月19日(日)　12:00～13:00

場　所：北浦和公園音楽噴水前広場　他。
（雨天の場合は埼玉県立近代美術館エントランスホール他で開催）

観覧料：無 料（お席のご用意はございません）
※但し『美術館は白亜紀の夢を見る』展の観覧には、一般：700円、大高生：560円の観覧料が必要です。なお中学生以下と65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方（付き添い1名を含む）はいずれも無料です。

作者＆出演者：赤松愛子、秋山瑞歩、植木結子、江積志織、岡野満紀子、小国香織、小関有希、海保文江、椚川真理子、久保田妙子、近藤　碧、齊藤菜美、桜井　陽、設楽涼子、関口淳子、高橋純一、玉村唯夏、西川未来子、野川真理子、林由紀子、藤井　香、古宿瑠美、幕田晴美、松元日奈子、美濃山早紀、山辺千秋

問合せ先：埼玉県舞踊協会　Tel.048-822-7530　※月、木曜日 10:00～16:00
研究部　藤井香　Tel.048-866-7366

主　催：埼玉県舞踊協会

共　催：埼玉県立近代美術館　埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
Tel.048-824-0111
京浜東北線北浦和駅西口徒歩3分（北浦和公園内）

「コンクール」新たな出発

コンクール総合プロデューサー　矢野美登里

埼玉全国舞踊コンクールは、第39回（今年度）より、インターネットの申し込みに変わり、ネットに弱い私など、心配でたまりませんでした。それを肯定するような、大変な事態となりまして、参加の皆様には、一方ならぬご迷惑をお掛け致しまして、本当に心が痛み、執心よりお詫びの気持ちでいっぱいでございました。又、事務局、コンクール実行委員会の皆様には、心から感謝いたしております。

大変な、いきさつがございましたにもかかわらず、バレエ・モダンあわせて二〇〇七曲、昨年より増えました事は、この上ない喜びと共に心より安堵致しました。

私共も新時代に対応して、少しでも参加者の方々の「プラス」になるよう努力し、洋舞の発展に寄与できますよう願っております。

第39回埼玉全国舞踊コンクール

7月23日～30日
さいたま市文化センター大小ホール

主催◎埼玉県舞踊協会
共催◎(財)さいたま市文化振興事業団
後援◎埼玉県／埼玉県議会／埼玉県教育委員会
埼玉県文化団体連合会／朝日新聞さいたま総局
埼玉新聞社／東京新聞さいたま支局
毎日新聞さいたま支局／読売新聞さいたま支局
テレビ埼玉／チャコットＫＫ／(社)現代舞踊協会
(社)日本バレエ協会／(財)橘秋子記念財団

【評】クラシックバレエ

舞踊家　橋浦　勇

コンクールで踊られるヴァリエーションは主役かそれに準ずるダンサーが踊るものばかりですから指導者の経験が問われます。それらの踊りを踊ってきた指導者ならば問題はないのですがビデオが頼りの指導者の場合それは如実に踊りに出てしまいます。

○体のポジションとポールドブラの不明確さ
○音楽のメロディー、リズムがとれず雰囲気だけで踊る人
○ステージの場所のとりかた
○衣裳のあいまいさ、たとえばドンキ・コッペリア3幕の踊りは結婚式の場なのにその配慮の無さ
○マイムの意味不明、ジゼル・オーロラ共に一幕の踊りの導入部

これらは厳然たるものがありますので採点の大きなポイントになります。

次にやめてほしいものはコンクール馴れした笑顔や小首のかしげ、場所移動の際のベテラン風な歩き方や走り方、そして不必要な技術の誇示、これらはバレエ芸術からはずれた芸人のおもねりとしかみえず採点にひびきます。

児童・ジュニアの踊りを見ているとその背後の指導者の良し悪しが見えてきます。それによって幸・不幸が決まるのですから教える方も教わる方もよく考えるべきだと思います。

参加者は汗を流して頑張ってきていることを思うと審査も目が充血するほどきちっと見てやらねばと心掛けております。

しかし審査員個々のバレエ感の相違があって一曲に対する採点でも極端なぐらいまちまちになることがあります。

コンクールの賞位は審査員の責任です。審査員の顔ぶれで順位は株式市場のように変るのです。ですから上位に入ったと飛んで喜んだり賞外だったとがくんと落ち込んだりしないで、バレエはコンクールだけではないと胸を張ってバレエを正しい指導者のもとで頑張って続けて下さい。

最後になりましたが役員の方々（一人一人立派な先生なのに）の甲斐がいしい働きぶりを目の当たりに見て埼玉県舞踊協会の結束力を感じました。39回目を迎えた数あるコンクールの中でも老舗格として埼玉全国舞踊コンクールの重さを大切にしていたゞきたいと思っております。

※コンクールモダン評論は次号に掲載させていただきます
※撮影／山口晴久

モダン1部 第1位

上原かつひろ

このような素晴らしい賞をいただき大変嬉しいです。お世話になった先生方、自分を育ててくれた先生に感謝してます。今までどおり自分のペースで頑張って行きたいと思います。

モダンジュニア部 第1位

林　芳美

結果を聞いたとき、感激のあまり涙がとまりませんでした。最後まで私を支えてくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、多くの方に認めてもらえる踊り手を目指して日々努力していきたいです。

モダン2部 第1位

千葉　馨

僕の「室内劇」という踊りは、即興で動くところがあり、毎回頭の中で考えて、それをやってみます。だから同じ踊りは二度とできません。そこが僕の好きなところです。技術を身につけて、もっと自由に踊りたいです。

バレエ1部 第1位

大場優香

先生をはじめ、沢山の方々の支えがあって今回このような最高の賞を頂く事ができました。支えてくれた人達の喜ぶ顔が見れて本当に嬉しかったです。これからも感謝の気持ちと踊る楽しさを忘れずに努力を重ねたいです。

バレエジュニア部 第1位

森山温子

今回、田中俊行先生のご支援のもと原麻衣子先生にご指導して頂く事ができ、そのおかげで一段と成長する事ができました。今まで温かくご指導して下さった先生方、見守ってくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいです。

バレエ2部 第1位

水谷実喜

バレエを始めた時から憧れていたこのすばらしい賞を頂くことができ、本当に嬉しいです。この賞を励みに、これからも日々努力して、頑張りたいです。ご指導して下さった先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。

協会員催し物ご案内

2006年10月～2007年4月

アキコ・カンダモダンダンス公演「バルバラを踊る」～花を咲かせるために～
◎10/6（金）19:00
◎10/7（土）15:00・19:00
◎10/8（日）15:00
☎048（645）6551 青山円形劇場 アキコ・カンダ【有料】

（社）日本バレエ協会関東支部埼玉ブロック 第19回バレエファンタジー
◎10/22（日）16:00
☎048（522）4883 さいたま市民会館おおみや大ホール ブロック事務局 河上【有料】
☎048（886）6420

平成18年度文化庁芸術祭参加 Do COLORS 第4回公演「a BLUE」
◎10/28（土）19:30
◎10/29（日）13:00・16:00
☎048(837)2507 全労済ホール スペース・ゼロ カヨ チカワ ダンス スタジオ【有料】

東京バレエ芸術劇場付属 板橋、王子、さいたまバレエ研究所合同発表会
◎11/4（土）16:30
☎048（834）5645 さいたま芸術劇場大ホール 浅野愛子【有料】

第39回 若松美黄・津田郁子 自由ダンス公演「Easy」
◎11/9（木）19:30
☎048（853）9410 さいたま芸術劇場大ホール 若松美黄【有料】

マリエバレエ発表会＆ベトナムチャリティー2006〈第10回記念公演〉
◎11/12（日）16:30
☎048（222）1535 川口総合文化センターリリア メインホール 矢嶋麻律絵【有料】

山路瑠美子バレエ新人の会
◎11/12（日）16:00
☎03（3469）1468 メルパルクホール 山路バレエ【有料】

矢野美登里エコール ドゥバレエ 第48回発表会
◎11/19（日）14:00
☎048（522）4883 県立熊谷会館 矢野美登里【有料】

第57回 間瀬バレエスタジオ発表会
◎11/23（木・祝）14:00
☎048（521）3500 県立熊谷会館 野呂【有料】

36周年記念 第24回 大岩静江バレエスタジオ発表会
◎12/10（日）16:30（予定）
☎048（283）9587 川口総合文化センターリリアメインホール 大岩【有料】

第17回 すゞきさよこモダンバレエ教室発表会
◎12/17（日）15:00
☎049（285）3198 東松山市民文化センター すゞき【有料】

藤里照子ダンスリサイタル
◎12/17（日）18:00
☎03（3995）2218 俳優座劇場 藤里【有料】

小林和加枝ダンス展
◎12/21（木）19:00
☎048（254）8155 川口リリア催し広場 小林【有料】

グランジュッテ チャリティコンサート No.9
◎12/24（日）15:00
☎048（685）3550 さいたま市民会館おおみや 新野【有料】

アキコ・カンダ・モダンダンススタジオ発表会
◎4/7（土）14:00（予定）
☎048（645）6551 彩の国さいたま芸術劇場小ホール アキコ・カンダ【有料】

～スタジオ10周年～ 第11回 和泉伽甫留バレエスタジオ発表会
◎4/29（日）15:00
☎048（866）4367 彩の国芸術劇場大ホール 和泉伽甫留【有料】

■「これからも増々合理的なコンクールになることを願って」

山口フォトアート（有）
山口晴久

今回で39回目と、大きな歴史を築いて来たものです。

私が撮影させて頂き始めたのが大宮の商工会館からでした。とても参加者が少なく3年ほど採算がとれませんでした。それでも写真の技術を磨くのにとても良い機会だと思いました。

会場がさいたま市文化センターに移ってから、毎年参加人数が増え続け今のような大きなコンクールになっていますが、他のコンクールと大きな違いは、大ホールと小ホール同時開催で、予選での2部・ジュニアの1分審査、これは写真を撮る側にとってはたいへんな事で、決して一人で撮ることが出来ず、審査員の先生方にだいぶご迷惑をおかけしていると思いますが、まあこれだけ多数の参加者をたったの1週間でさばいてしまうことである。とても合理的である。テクニック審査であるのでこれで十分である。舞踊家としての資質を問う国際コンクール、ローザンヌやヴァルナなど、とくにヴァルナはファイナルまで3週間以上かかってしまう。

とにかく日本はコンクールが多い、発表会でもヴァリエーションが多い。テクニックの競い合いだ。しかしこれでいいのだろうか。テクニックは当然のことであって、大切なことは肉体から溢れ出る表現力のほうが必要ではないのか。

話がずれてしまいますが、カレンダーのため二年に一度ベルギーのアントワープ市立バレエ学校へ撮影に行きますが、12才から18才までの生徒がバレエのレッスンは、朝の8時からのバーとセンターの二時間ほどのみで、普通の授業の他にジャズダンス、スパニッシュ、コンテンポラリやキャラクターなど多方面にわたってレッスンを受けている。モダンは嫌だ、などといっていられない。プロのバレエダンサーになるのに、皆とても真剣である。

資質を高めて行くには、舞台で踊る回数が多くなくてはなるまい。賞をとるための出場ではなく、出るごとに成長していく方が、どれだけ先が楽しみだろうか。私が記憶している限りでは、クラシック2部で何年も続けて出場して頂点に達した、吉田都さんや酒井はなさんは今でも光輝いているダンサーである。

今回からネット上でのみの参加申込みになりましたが、先見の明がありとても良い事だと思いますが、参加者の先生方には、日が選べないとか、クラシック1部とクラシックジュニア部の同じ時間帯に重なって、片方が見れなかったと言うような不満が聞かれました。

どうぞ埼玉コンクールが日本を代表するものになることを大いに願っております。

■「埼玉全国舞踊コンクールによせて」

（18年間ビデオ撮影をさせていただいて）
スタッフテス株式会社
（有）テス・ビデオ・ワークス
代表取締役　飯島　担

1988年、当時埼玉県舞踊協会会長（現名誉会長）でいらっしゃいました藤井公先生からご依頼を頂いたのがきっかけで、毎年埼玉全国舞踊コンクールへお伺いさせていただくことになりました。

以来、18年に亘り弊社の夏は毎年埼玉全国舞踊コンクールからはじまっています。

年々出演人数が増え、日本全国から参加される方々にお会い出来るのが楽しみであり、歴史あるコンクールに参加させていただけて、大変嬉しく思っています。

弊社では依頼を頂くまでこのような大規模なコンクールに伺ったことがなく、撮影から受付にいたるまで一から手探りで始めました。

今では主流になっています当日に製品をお渡しする形式も、お伺いしてから3年目に軌道に乗り、以来社員一同こちらのコンクールで勉強をさせていただいております。

ビデオカメラマンとして、出演者の技術的なレベルより、カメラを通して見える真剣な眼差し・圧倒される気迫を映像に残すということは、我々にしか出来ない技術だと確信しています。

コンクールまで練習を積み重ねてきた出演皆様の記念となる映像を製品としてお渡し出来た時、何事にも変えがたい充実と喜びを感じています。

これからもお一人、お一人の記念となる映像を残せるよう、埼玉全国舞踊コンクールと共に成長していければと存じます。

「コレオグラファーの目」vol.1を観て

佐多達枝

3月19日（日）北浦和の美術館で「コレオグラファーの目」vol.1のタイトルで15作品・10数人によってパフォーマンスが行われました。協会の研究部の藤井香さんの働きでとても画期的なユニークなものだったと思います。それは美術館の入り口からだったり、地階の円形の部屋だったり建物の入り口から続くガラス張りの壁に沿ってだったり。観客は勿論当日のダンサーの友人だったり、家族だったりでこの催しを知って来られた方も多かったとは思いますが、何も知らず美術館に来られた方々はびっくりされたかも知れませんが積極的に好奇心をもって観てくれた

と云う印象でした。劇場で順に観ると云うのと違ってあちこちで同時進行ですので全体を通して作品の評価を述べることは出来ませんがこの催しに対しての感想として、お行儀よく座って観るのではなく我が儘に場所をかえたり立ち止まったりして観るだけに、曲がり角でハッとしたりオッ！これもありだなと云うのが私は新鮮な期待で楽しかった。それは出番の前に、廊下の途中の狭い壁際の空間の4人くっついて膝を抱えて坐っているのだったり、廊下の壁にひっそり1人坐っているのだったりとかでした。全部をちゃんと見れなかったのが残念とか云うのでなくたまたま廊下を曲がったところで観たのが面白かったとかそれがいゝのではないかしら。真面目にそろって踊るのは似合わない、スペースの使い方もこっちが正面と決めてそろってそっち向きに踊るのは似合わない。日本人の国民性から云って観客参加はなかなか難しいかも知れない。アドリブ、ハプニングを期待するのは無責任かな、無理かな？私のように年老いた者バレエ出身の者はなかなか融通が利かないけどあのような空間での意外性に満ちたパフォーマンス若い方々にどんどん冒険して欲しいと思います。遊び心、ユーモア、ショッキングな、でも適当と云うのでなく。音楽のあり方、衣裳のこと、催される美術との関わり方、いろいろ考えることはありますが、今後も藤井香

さんの新鮮な企画が実現することを期待します。関わらなかった者が云いたいことだけで云ってごめんなさい。

「ステージ1終了」

藤井利子

九月二十三日（土）七時、二十四日（日）一時、五時開催「ステージ1」開催以来初めての三回公演が終了いたしました。踊りたい・創りたい意欲が、観客の暖かい応援の拍手で、彩の国さいたま芸術劇場小ホールの舞台・客席一体空間を満たしました。先ずは今回三回公演に踏み切った企画運営担当の松崎すみ子、高野尚美氏に、又支えてお手伝い下さいました方々に感謝を申し上げます。

作品参加者の顕著な意欲を感じたのは、三回目の舞台で、創作もダンサーの表現力も初回と比べてみごとに完成度を高めていた事です。持てる力を、今在る段階を最高に発揮する結果が得られ、舞台に携わる人は舞台で成長して行くのだと感じ入りました。

ひと振りにも宿る表現の深さ重さを思索したり、自身の言葉で語れるような個性を生かす感性、間、呼吸等の追求、技術アップの把握等山積みの研修を比のステージ1公演で体験しながら学び、次へのステップに繋げながら、これからも更なる発展へ挑戦しながら活用していただければ、育成事業として比の上ない喜びです。

私自身、見せて頂く側としても、新しい発見、新鮮な風や、心や感性の共有、夢、パワー等感じる度に益々バレエ、ダンスへの愛が深まる楽しさを噛み締めています。

個々の作品感想は、修了後の打ち上げ会場で、評論家山野博大氏を中心に、感想発言者担当の由井カナコ、佐多達枝（初日公演の各作品の感想文を寄せていただきました）、藤井利子が、個別に対話し、和やかに、次回への期待を胸に散会いたしました。

末筆ながら特別出演でお招きした萩原彩花氏、黒澤朋子氏の素晴らしい演技は、参加者にとっても、観客の皆様にとっても忘れ難い印象となって残ったこと思います。ここに厚く御礼を申し上げますと共に、今後の益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。

◎ステージ1　来年予告
2007年9月8日(土)・9日(日)
彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
◎編集後記
待つ!! 待ってる!! 待っていなければ…!!
色々なことを期待して待つ。楽しさ、大変を今回も新聞を編集しながら感じました。全国舞踊コンクールの記事を掲載しながら…。これからの若い芽の成長が楽しみです。

広報部　山本教子

故郷に感謝

アキコ・カンダ

19歳で故郷からアメリカのマーサ・グラームの元へ飛び込んでからのダンス生活は、楽しい事ばかりではなく、過酷な日々の連続でした。戦後10年目のアメリカで、人種問題にも直面し、故郷に思いを馳せながらも頑張れたのは、ダンスを愛し、ただただマーサを信じて付いていけたからでした。この時期の何ものにも変えがたい貴重な経験は、今ある私の全ての土台となっています。

グラハム舞踊団を退団、帰国してから45年の月日が過ぎました。ダンスを創り、ひたすら踊る事に夢中だった私にとっては、あっという間のような気がします。

さいたま市大宮に本拠地を移して早10年が過ぎました。生まれ育った場所で活動出来る事が、これ程心を癒し、安らぎをもたせてくれるのかと、しみじみと感じています。

今年2月、3冊目となる篠山紀信さん撮影の写真集「AKIKO」を出版しました。これは、1971年の出合いから、篠山さんが35年間撮りためた写真の集大成です。

故郷に戻った事で、これ迄の自分の活動の軌跡を全てを形として残しておきたいと思いました。出版記念に銀座・和光ホールで写真展を開催していただく事も出来ました。多くの方達の支えと応援が私を包み込んで下さっている事に感謝しています。

帰国後すぐに講師となった宝塚歌劇団でも、45周年記念として、元劇団員の人達がリサイタルを企画してくれました。12月に宝塚で公演が実現します。

これからも、ダンスを愛し続け、ダンスの輪を次世代の人達に、広げたいと願っています。夢は大きくふくらむばかりです。

（※写真集へのお問い合せはアキコ・カンダ事務所へ）

ダンス・セッション 2006 ―呼吸―

●2006年12月17日（日）17:00開演
●彩の国さいたま芸術劇場　大ホール
〈全席自由 3,000円〉
◎第39回埼玉県全国舞踊コンクール
成人の部　上位入賞作品披露
◎埼玉県舞踊協会が総力を挙げての
バレエ・モダンの合同協力作品「呼吸」
総合監督・演出　若松美黄
作品者(50音順)　和泉伽甫留／市川華代／上田仁美／大岩静江／河上正子／佐藤良寛／志保野ひろみ／谷 乃梨絵／藤井 香／山本教子

伸びゆく彩の国さいたまの子どもたちによる
第40回 バレエ・モダンダンス フェスティバル
《会場》川口総合文化センター リリアメインホール
《日時》2007年3月10日(土)・11日(日)

平成18年度 第39回埼玉全国舞踊コンクール 決選入賞者

バレエ

1部成人の部
第1位
橘秋子賞・県知事賞　大場優香
第2位の1
県議会議長賞　増田杏子
第2位の2
県教育長賞　茂木恵一郎
第3位の1
県文化団体連合会長賞　早矢仕友香
第3位の2
県文化団体連合会長賞　長谷川修子
第3位の3
県文化団体連合会長賞　伊東真央
朝日新聞社賞　冨吉咲也子
埼玉新聞社賞　沖田貴士
テレビ埼玉賞　鳴海令那
東京新聞社賞　曽根原彩納
毎日新聞社賞　秋吉奈津美
読売新聞社賞　大槻純子
チャコット賞　平尾麻実

ジュニアの部
第1位
橘秋子賞・県知事賞　森山温子
第2位の1
県議会議長賞　中村悠
第2位の2
県教育長賞　高田茜
第3位の1
県文化団体連合会長賞　山谷奈々
第3位の2
県文化団体連合会長賞　山岸千紗
第3位の3
県文化団体連合会長賞　土田明日香
朝日新聞社賞　吉田邑那
埼玉新聞社賞　高田樹
テレビ埼玉賞　小林美奈
東京新聞社賞　田村彩恵
毎日新聞社賞　永瀬愛莉菜
読売新聞社賞　中ノ目知章
チャコット賞　松本佳織

2部児童の部
第1位
橘秋子賞・県知事賞　水谷実喜
第2位の1
県議会議長賞　石崎双葉
第2位の2
県教育長賞　山本景登
第3位の1
県文化団体連合会長賞　前沢愛
第3位の2
県文化団体連合会長賞　佐々木まどか
第3位の3
県文化団体連合会長賞　上野祐未
朝日新聞社賞　江口絵梨
埼玉新聞社賞　井上加奈
テレビ埼玉賞　上村桃花
東京新聞社賞　金子綾乃
毎日新聞社賞　種田智美
読売新聞社賞　野中麻紗子
チャコット賞　中村絵梨

モダン

1部成人の部
第1位
橘秋子賞・県知事賞　上原かつひろ
第2位の1
県議会議長賞　小林泉
第2位の2
県教育長賞　大竹千春
第3位の1
県文化団体連合会長賞　磯島未来
第3位の2
県文化団体連合会長賞　皆川まゆむ
第3位の3
県文化団体連合会長賞　松田英子
朝日新聞社賞　高橋純一
埼玉新聞社賞　荒木まなみ
テレビ埼玉賞　高杉あかね
東京新聞社賞　蛯子奈緒美
毎日新聞社賞　海保文江
読売新聞社賞　呉松綾子・富士奈津子・瀧澤悠紀
チャコット賞　森本なか

ジュニアの部
第1位
橘秋子賞・県知事賞　林芳美
第2位の1
県議会議長賞　木原浩太
第2位の2
県教育長賞　幅田彩加
第3位の1
県文化団体連合会長賞　池ヶ谷奏
第3位の2
県文化団体連合会長賞　花房茉里奈
第3位の3
県文化団体連合会長賞　小川真奈
朝日新聞社賞　柴田茉実
埼玉新聞社賞　岩濱翔平
テレビ埼玉賞　島田早矢香
東京新聞社賞　菊池成美
毎日新聞社賞　立野礼奈
読売新聞社賞　茂木香澄
チャコット賞　中村真梨香

2部児童の部
第1位
橘秋子賞・県知事賞　千葉馨
第2位の1
県議会議長賞　江上万絢
第2位の2
県教育長賞　鬼本佳織
第3位の1
県文化団体連合会長賞　南帆乃佳
第3位の2
県文化団体連合会長賞　田中萌子
第3位の3
県文化団体連合会長賞　箭野早耶華・中村志智・平野響・加藤佑菜
朝日新聞社賞　本郷千洋
埼玉新聞社賞　マライア希夢ブラジル
テレビ埼玉賞　川合十夢
東京新聞社賞　宮本悠加
毎日新聞社賞　吉岡瑞紅
読売新聞社賞　桑原はるか・馬越梨奈・深澤綾乃
チャコット賞　小杉里美